

2026WORLD ROWING UNDER19 CHAMPIONSHIPS REPORT 4 (8/3,4)

8月3日(月)

いよいよコースオープンとなりました。ヨーロッパ組をはじめ多くの国が現地入りしてきて、コースは賑わいを見せてきました。

U19世界選手権日本代表チームも必要な手続等を順調に済ませ、大会への準備を着実に進めております。また、他国やボート関係会社の方とのコミュニケーションも積極的に行うなど、実りある貴重な経験をしています。



ADカードを受け取りました！写真左から、梶 ひまり 選手(立教大学)、佐野 天里 選手(岡谷南高校)、一瀬 弥満登 選手(若狭高校)、首田 笙 選手(富山国際大学)



公式練習日となるこの日から、水上練習の際には国名ステッカーが必要になるので、「JPN」のステッカーを各クルー艇に貼り付けました。左の写真は気持ちを込め「JPN」ステッカーを貼る一瀬選手(若狭高校)。



JW1x 梶選手(立教大学)

JM1x 佐野選手(岡谷南高校)





M2x クルー(写真左から)B 一瀬選手(若狭高校)、S 首田選手(富山国際大学)

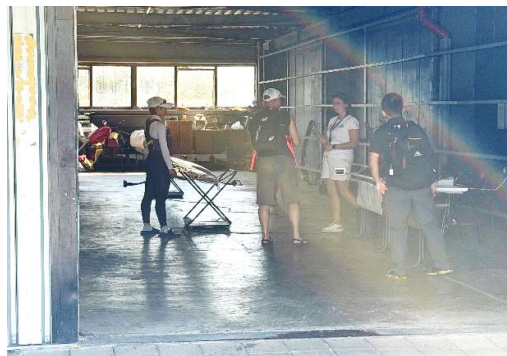


8月4日(火)

大会を2日後に控え、会場もさらに参加国も会場入りし、ローイング関係の各社のテントも増えさらに活気づいてきました。大会サイドからも色々な発信があり、一つ一つ確認をしながら大会への準備をすすめております。



←テント付近の木陰でウォーミングアップをするU19世界選手権日本代表選手達。



事前艇計量を行い、重量が不足している艇には
デッドウェイトを取り付けました。

↗
→
↘



出艇桟橋も込み合っております。



選手達は水上で生き生きとしています。



トレーニング後の帰りのバス待ちの時間は、いつの間にか他国とのコミュニケーションタイムになっておりました。

明日は大会前日。組み合わせ抽選が行われ、オープニングセレモニーもあります。2日後の大会初日に向け、心身ともにコンディションを整えていきますので、ご声援よろしくお願いいたします。